

平成23年度 文京区立小日向台町小学校 授業改善推進プラン

第5学年

	指導上の課題	指導の在り方	授業改善の視点
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的や意図に応じて的確に話したり、相手の意図をつかみながら聞いたりすることが課題である。</li> <li>既習漢字や新出漢字の書き取りの定着に課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話す目的や意図を明確にするとともに、聞き手である相手の意図を十分感じ取っていくことを指導していくことが大切である。</li> <li>学習した漢字を意識して使うように習慣づける指導が大切である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>同学年や異学年、全校児童や学校外の人々などを対象とした、多様な場や相手に対して話することができるような機会を設定するようにする。</li> <li>文章を書く時に、既習の漢字を使うことを習慣化させ、漢字を書くことに慣れさせる。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の主な大陸と海洋、主な国の名称と位置、我が国の位置と領土を地図や地球儀、資料などを活用して調べる学習に課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>名称や位置を調べるだけでなく、わが国とそれらの国との位置関係を確認させ、産業に関する学習などにおいて活用できるようにすることが大切である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地図や地球儀、統計、年表などの各種の基礎的資料の活用の仕方を指導する。</li> <li>産業に関する学習において、各種資料を活用できるよう、問題解決的な学習や体験的な活動、表現活動などを多く設定する。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>計算や図形などの基本学力に補充を要する児童が見られ、課題解決にかかる時間も個人差がある。</li> <li>数のしくみや小数の位取りなど、思考力を要する問題を苦手とする児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>少人数指導を活用し、個に応じた指導を充実させ、基礎・基本が確実に身に付くようにする。</li> <li>既習事項を生かし、問題解決の方法を考えたり、話し合ったりし、様々な方法での問題解決の方法を導き出す指導が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>繰り返し練習し、学習する習慣を身に付けさせ、速さと正確さを追求する学習を充実させる。</li> <li>少人数指導を活用し、問題解決的な学習を充実させ、多面的に考えられるようにする。</li> <li>問題文をしっかりと読み、「分かっていること」、「求めていること」を理解し、図や数直線を手がかりに考えを深めさせる。</li> <li>集団思考や学び合い（ペアやグループでの相互評価など）ノート指導の充実を図る。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>観察、実験などを通して自然の事物・現象と科学的にかかわり、実感を伴った理解を図ることに課題が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題解決を図る学習を積み重ね、実験や観察などを充実させることで、自然事象に対し実感を伴った理解を図り、科学的な見方や考え方の育成する指導が大切である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観察、実験などの結果を一人一人の児童が自らのものとして大切にしつつ、予想や仮説との関係で比較・検討したり、他の児童の結果と比較して検討したりすることで、自然事象に対して考察を深め、実感を伴って理解していく学習を積み重ねる。</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>リード楽器の奏法を苦手としている児童が多く見られる。</li> <li>授業に集中するのが苦手な児童や支援を要する児童への手立てが課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>短いフレーズを一つずつ確認しながら弾かせることにより達成感を味わわせる。</li> <li>適切な対応や支援を行うことが必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>範奏を示し、音で美しい音色に馴染ませ短いフレーズで表現する楽しさを感じ取らせる。</li> <li>授業中に助言をし、時間外(朝、昼休み、ユニットの時間など)に個別学習の時間を設定し自信をもたせる。</li> </ul>

<p>図工</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女の取り組む態度に差が生じている。特に、材料の特徴や構成の美しさなどの感じ、用途など考えながら表し方を構想して表すことが苦手な児童への手立てが課題である。</li> <li>・鑑賞の態度、作品などを大切であるにする態度等、課題のある児童への手立てが課題である。</li> <li>・授業に集中することが苦手な児童や支援を要する児童への手立てが課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・材料の特徴、構成の美しさ、用途などの考えを要する場を設定することが大切である。</li> <li>・表したいことに合わせ、材料や用具の特徴を生かして使用する場面を設定することが大切である。</li> <li>・鑑賞活動の充実を図る必要がある。</li> <li>・適切な対応や支援を行う必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・題材工夫を意図的・計画的に行い、必然的に、材料の特徴、構成の美しさ、用途などを考える内容にする。</li> <li>・また、表したいことに合わせ、材料や用具の特徴を生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりする経験を積むことのできるような内容にする。</li> <li>・「表現」と「鑑賞」との関連を図りながら、自分たちの作品、我が国の作品、暮らしの中の作品など鑑賞し、よさや美しさを感じ取る時間をしっかりと。</li> <li>・個別指導のもち方を、授業中の他、適宜授業時間外に設け、個に合わせ達成感を味わわせながら日々の態度に反映できるよう関わっていく。</li> </ul>
<p>家庭</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・布を使つての製作は、地道で根気のいる作業であり、身近な生活においても目にするのが少ないせいか、興味関心・技能に個人差が大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣食住に関する基礎的な知識や技能を身に付けることが豊かでよりよい家庭生活につながることを意識させ、家庭科への関心を高める指導を大切にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手仕事の良さや生活の中で役立つ事例を取り上げ、児童の関心を高めていく。</li> <li>・針や糸の基本的な扱い方を一人一人が楽しみながらしっかりと身に付けられる小物製作を工夫していく。</li> </ul>
<p>体育</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力テストの結果、柔軟性に課題が見られる。</li> <li>・友達と協力しながら、ルールやマナーを守って安全に練習に取り組むことに課題が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的な取り組みが必要である。</li> <li>・友達同士で教え合ったり、作戦を立てたりする指導が大切である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の授業の中で、ストレッチングを積極的に取り入れていく。</li> <li>・友達同士の教え合いを重視し、互いに見合う中で技能を高め合えるようにする。また、自己評価や相互評価の場面を授業の中に取り入れ、学び合う意識を高めていく。</li> </ul>
<p>総合</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題を調べるだけに終わっていることがある。身近な生活に結び付けて考えることに課題が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験や経験、調べたことを通して、学習したことと自らの生活とを結び付けられるようにし、学びを生かすことが大切である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験を通して、課題を見つけたり、自分の考えをもったりできるようにする。また、自分の考えをまとめる際に、自らの生活と結び付けてまとめるように支援する。</li> </ul>

第6学年

	指導上の課題	指導の在り方	授業改善の視点
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>取材したことや調べたことの要点をおさえ、相手を意識して、わかりやすく発表する学習に課題が見られる。</li> <li>体験したり、感じたり、考えたりしたことを文章に表現する力に課題が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>取材したことや調べたことを整理して、発表の要点・重点をつかみ、発表メモを使って効果的に話す指導が大切である。</li> <li>文章を書くことを習慣化し、書くことに慣れること、文章の表現の仕方を身に付けることの指導が大切である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学級でのスピーチ活動を継続して行い、聞き手を意識して、自分が伝えたいことを効果的に伝えるために、中心や順序、表現方法など考えて話すことができるようにする。</li> <li>学級の実態に応じて、日記や俳句、簡単な随筆など、自分が感じたこと考えたことを書いて表現する機会を設ける。また、友達の作品に触れることで、友達から学ぶことができるようにする。また、他の教科でも学習内容を文章でまとめる作業を取り入れる。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>図や統計、時代背景等の資料を読み取り、問題点を調べてその意味を考える学習に課題が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いくつかの統計や図・資料を関連づけて読み取ることや、知識や生活経験、社会的事象と結び付けて考えさせる指導が大切である。</li> <li>課題に適した方法で調べる力やまとめる力を身に付ける指導が大切である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図や統計、写真等の資料から読み取った内容をもとに課題を考えたり、話し合ったりし、歴史的背景を想像させる指導を重点とする。</li> <li>課題に合わせた効果的な資料の活用方法を指導するとともに、その資料を用いて自分が調べたことを工夫して分かりやすくまとめるよう指導していく。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>計算や図形などの基礎学力に不安がある児童が見られ、課題解決にかかる時間にも個人差がある。</li> <li>単位量あたりの大きさや比を用いた割合の表し方など、思考力を要する問題を苦手とする児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計算や作図などの基本技能は繰り返し行い、定着を図ることが大切である</li> <li>問題解決の過程を整理し、原理や考え方をしっかり理解できるようにする。</li> <li>少人数指導を行い、より一人一人に充実した指導を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計算などの基礎的な事項は繰り返し身に付けさせる。</li> <li>結果や公式だけに注目せず、図や数直線等を使い、問題解決の過程をまとめ、考え方から理解させる指導を充実する。</li> <li>少人数指導を活用し、問題解決的な学習を充実させるとともに、既習事項を復習する時間を確保し、学習内容の定着を図る。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題に対して、自らの生活経験や既習の知識と結び付けて予想したり、考察したりする力に課題が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実験や観察などを充実させ、問題解決を図る学習を積み重ね、既習の知識を活用して結果を考察することで、科学的な見方や考え方の育成を図る指導が大切である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業での課題提示や単元構成を工夫し、児童が関心をもって課題に取り組み、自分の考えをもって主体的に学習に参加できるようにする。</li> <li>実験などの結果から考察したり、話し合ったりする活動を充実させ、結果と自らの生活経験や既習の知識とを関連付けて考察を深める学習を積み重ねる。</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>器楽学習の運指や声を出して歌うことに苦手意識がある児童への手立てが課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>器楽学習では、運指を図示したものを提示し理解させる。皆で歌うことで歌う楽しさを感じ取らせることが必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>器楽学習では、楽譜をカタカナで書いた物に運指を記入し児童に配布し、黒板に提示し、説明する。教師が短いフレーズを範奏することにより理解を深めさせる。</li> </ul>

<p>図工</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・造形的な能力を高めようとする点で、課題のある児童への手立てが課題である。</li> <li>・表現に適した方法を組み合わせることで、課題を感じる児童への手立てが課題である。</li> <li>・材料の特徴や構成の美しさなどを考えながら表す点で、課題を感じる児童が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年に応じた造形的な能力面を意識させて、活動に取り組みさせていく必要がある。</li> <li>・表現に適した方法を組み合わせることで表せるよう、意図的な題材設定が重要。</li> <li>・材料の特徴や構成の美しさも意識し、活動に取り組むことができるよう、目標の設定を工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・展覧会に向け、最高学年としての取り組みを意識できるように、日頃より言葉をかけていく。</li> <li>・自分の表したいことに合わせて、材料や用具の特徴を生かして使用したり、適した表現方法を組み合わせたりできるように、意図的な場の設定等を工夫する。</li> <li>・材料の特徴をいかしたり、構成の美しさを意識した表現活動が実現できるように、模範作品で示したり、個別指導での言葉かけを行ったりする。</li> </ul>
<p>家庭</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調理実習や布を使つての製作など、意欲的に学習に取り組む児童が多いが、個人差も大きく、丁寧に作り上げていくことに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣食住に関する基礎的な知識や技能を身に付けることが豊かでありよい家庭生活につながることを意識させ、家庭科への関心を高める指導を大切にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が自分の課題をしっかりと意識して取り組めるよう、実習だけでなく、計画や振り返りの活動を大切にする。</li> <li>・お互いの良さを認め合い、達成感や自信をもたせる。</li> </ul>
<p>体育</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの領域での技能ポイントを把握できず、運動の特性（楽しさ）を十分に味わえない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・練習の時間に技能ポイントや動き方を示したり、友達同士の教え合いを活発にさせたりすることが大切である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技能ポイントを示し、スモールステップで動きや感覚を習得できるように指導していく。</li> <li>・友達同士の教え合いを重視し、互いに見合う中で技能を高め合えるようにする。</li> </ul>
<p>総合</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「[ぼくのわたしの八ヶ岳]」では八ヶ岳の自然から課題を立て調べたが、課題を調べるだけに終わっている児童がいる。身近な生活に結び付けるまでに至っていない。</li> <li>・何のために調べるのか課題がはっきりしないまま学習が進んでしまうことがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験や経験、調べたことを通して、学習したことと自らの生活とを結び付けられるようにし、学びを生かすことが大切である。</li> <li>・調べ学習では、発表する相手を意識させ、それに適した表現方法を選択してまとめることが大切である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八ヶ岳の自然について、課題を立てさせ、自然や生物との関わりから自然の恩恵に気付かせるようにする。</li> <li>・自然の恩恵から、自らの生活を見直すことができるようにする。</li> <li>・まとめ学習に入る段階で、最終的に発表する相手を決めて、目的意識をもって課題を追究させ、必要に応じて表現方法を提示し選択させるなどの指導を行う。</li> </ul>